

聖書の言葉

神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。

ヨハネの黙示録21章3、4節

切りとって送ってください

郵便はがき

241-8501

お手数ですが
切手をお貼りください

横浜市旭区上川井町846
VOPバイブルスクール行

ご意見、ご感想をお書きください。

愛にあふれた故郷⁴

て、働くのが楽しくて、身体の奥から生きている喜びが湧き上がってくるでしょう。

人間とは、これほどすばらしく創られているのかと、驚くでしょうし、人として生まれて良かったと、心の底から喜びをかみしめるでしょう。

本来あるべきところ

初めに書いたように、かつて私は、天国を求めるのは、ご利益を求めるのと同じと思っていました。が、今は違います。

そこは人間がほんとうに人間らしく生きられ、心から「こここそが、私たちの住むべきところ」といえる場所です。現在の私たちは、愛も知性も何もかも、ほんの少しだけ用いて、身を屈めるように生きています。でも天国では、すべてを自由に出し切って、のびのびと生きられるでしょう。

そしてその幸福な人間の上に、神のあたたかい目が注がれるのです。聖書にはこう書かれています。

「神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない」
(ヨハネの黙示録21章3、4節)

今、私の机の上には子ヤギと豹の寄り添った陶器があります。それは私たちの間にさえ平和がみなぎっているという聖書の1節からイメージして作られたものです。そこには私たちが求めて得られなかった完全な平和があります。そうです。宇宙の中心にある天国こそ、神の用意してくださったあなたがほんとうにあなたらしくして生きられる世界、すべてのクリスチャンが求めてきた真の故郷^{ふるさと}なのです。

VOPバイブルスクール入門講座

2

もうひとつの必要 全12課

- 1課 あなたは愛されています
- 2課 もっとも愛されている本
- 3課 あなたと出会うために
- 4課 いのちをかけた愛
- 5課 復活の奇跡
- 6課 あなたも変わることができる
- 7課 愛に生きるために
- 8課 特別な出会いの場所
- 9課 悲しみの彼方^{かなた}
- 10課 愛する人の目覚める朝
- 11課 希望の約束
- 12課 愛にあふれた故郷^{ふるさと}

その他のVOPバイブルスクールの講座

もっと
学びたい方へ

入門講座 全12課
聖書を初めて開く方でも手軽に学べる講座です。

基礎講座 全15課
入門講座を終えた方や、詳しく学びたい方のための講座です。

真理への道 全18課
キリスト教の背景のない方のためのキリスト教入門講座です。

ストラクチャー預言講座 全24課
歴史や預言から聖書が学べる講座です。

ニュースタート健康講座
健康の原則についてわかりやすく学べる講座です。



VOPバイブルスクール
〒241-8501 横浜市旭区上川井町846
メールアドレス: info@vojapan.net
<https://vojapan.net/>

もうひとつの必要

12

VOPバイブルスクール入門講座2

愛にあふれた故郷



愛にあふれた故郷 ①

あるキャンプ場で

イエスの昇天後から2千年の間、クリスチャンは天国の約束に希望を抱き、生きてきました。長く激しい迫害の続く時代にも信仰が受け継がれてきたのも、やはり天国が大きな力でした。

でも私は「天国へ行きたい」という言葉が、あまり好きではありませんでした。教会にご利益を求めに来ているように思えて、ただイエス・キリストが好きただけだと、つぶっていたのです。

そのような私が、素直に天国へ行きたいと思えるようになったのは、あるキャンプに参加した時からです。それは労働奉仕を中心にしたキャンプで、約30名の老若男女が集まりました。電気もガスもない場所で1週間を過ごしたことで、私たちはお互いにほんとうに親しくなりました。

普段、仲が良くなかったわけではありましたが、やはり遠慮はありませんでした。けれど、そのキャンプ場で、全員の心に信頼と友愛が生まれてきたのです。全員が自分の大好きな人で、だれの心のうちにもお互いを受け入れる場所がありました。そして私は初めて、天国がこうした愛のみなぎる世界であるならば、そこへ行きたい、そこそがほんとうに人の生きる場所だと思いはじめました。

現在私たちの生きている社会では、人々は心の中に持っている愛を、ほんのわずかしかが用いていません。一握りの親しい人たちの間でだけ愛を受け、また自分の愛をあげているのがほとんどです。ほんとうは私たち人間の心の中には、お互いに与えあう、もつともつとたくさんの愛があるのではないのでしょうか。

30人の人々と家族のように過ごせたその1週間は、心の中の愛を思いきり現せて、また、もらえたという満足感で心がいっぱいでした。キャンプが終わって、それぞれの家へ帰る電車に乗った後、私は

愛にあふれた故郷 ②

まわりの人たち——それは見知らぬ人たちでしたけど——に、「どうして笑い合わないの?」「どうしてオシャベリしないの?」と語りかけたくて仕方ありませんでした。

そのキャンプのことは、今も私の胸の中に鮮やかに残っています。あの時、親しい3人の友だけと行ったのでしたら、あれほど楽しくなかったでしょう。30人だったから喜びは大きくなったのです。もし300人、いえ3000人だったら永遠という時さえ、長いとは思わなかったことでしょう。

愛のあふれているところ

それ以来、天国は私にとって、人が心に持つ愛を100パーセント活用できるところと考えるようになってきました。

もし人間の命がこの世界だけで終わるのだとしたら、私たちは豊かに持っているはずの愛を、ほんの少し使っただけで終わってしまうのです。それではあまりに悲しくはないのでしょうか。

太平洋戦争の終わった後、しばらくして『私は貝になりたい』という本がベストセラーになりました。戦犯であった加藤哲太郎が巣鴨プリズン（現東京拘置所）で書いた本で、幼かった私にはハッキリと理解することはできませんでしたが、その本の題になった文章は、今も忘れられません。

「私は貝になりたいと思います。

貝ならば海の深い岩にへばりついて

何の心配もありませんから。

何も知らないから、悲しくも嬉しくも痛くも痒くもないし、……

私は貝に生まれるつもりです。」

そのころはただ暗い文章だと感じていただけでしたが、今改めて考えると、そこには豊かなものを持っていながら、戦争のためにその生命を散らして行

愛にあふれた故郷 ③

かねばならなかった若者の心の叫びのように聞こえます。

豊かな愛を持ちながらわずかしかが用いないで死んでいくのが人間の生き方であるならば、いっそもも感じない貝であった方がよいと、そこでは言っているのではないのでしょうか。

人間性のあふれているところ

地上の生涯だけでは、自分の持っているものをすべて活用することは無理です。そうであるならば人として生まれたのが幸福だとは決して言えないでしょう。また、人の持つ知性や感性についても同じように言うことができます。

天才アインシュタインでさえ、その頭脳の20パーセントぐらしか活用していないと聞きます。そうだとすると、私たち普通の人は10パーセントも使ってはいないでしょうし、残りの90パーセントを使うことは、永遠にないのかもしれない。

しかし、私は残りの部分は天国で活用できると思っています。そこには自分自身も知らなかった新しい才能が隠れているかもしれません。私はまだ弾いたことはありませんが、バイオリンの才能があるかもしれませんし、あなたは絵画の天才かもしれません。頭脳も今よりずっと優れていて、新しいことを理解したり、研究したりできるでしょう。

美しいもの、優れたものに感動する感性だって、私たちはもっと豊かに持っているはずです。美しい景色や、自然界の生き物の姿に深い感動を覚えたことがおありだと思います。けれど、私たちの毎日は、そうした喜びを忘れてあわただしく過ごしています。ですから天国に行ったとき、私たちは自分の感性の豊かさ、すばらしさに目をみはるでしょう。

また、身体というもののすばらしさにも——。ここでは歩くのが楽しくて、走るのが楽しく（裏面へ続く）

切りとって送ってください

VOPバイブルスクール入門講座2・答案用紙

黒のペンでていねいにご記入ください。（□の中に印をつけてください）

解答1 心の中に持っている愛をほんのわずかしかが用いていないところ
 人が心に持つ愛を100パーセント活用しているところ
 思いやりと信頼に満ちた場所

解答2 心の中に持っている愛をほんのわずかしかが用いないところ
 人が心に持つ愛を100パーセント活用できるところ
 他人には一切無関心な場所

解答3 与えられた才能や感性を十分に用いることができる生活
 やることがなくて永遠に退屈な生活
 何も感じない、ただ魂であるだけの生活

解答4 神の言いなりになって生きること
 地上の生活を懐かしんで、さみしく生きること
 人間がほんとうに人間らしく、すべての才能を自由に出してのびのびと生きること

解答5

フリガナ お名前	登録番号
ご住所 〒	
電話番号 ()	